

まほろば幸いネット通信



第9号

H30. 3. 30 発

(リーディング事業の取組)

◆まほろばレスキュー事業（「資源リスト」取りまとめ中）

レスキュー事業では、全県実施に向けて、提供可能な資源リストを作成中です。実務者チーム参画法人から報告いただいている資源の一例は下記のとおり。取りまとめが出来次第、全体共有するために参画法人の皆様へリストを提供します。本事業は、相談支援機関との連携が不可欠であることから、参画法人が属している市町村行政（保護課等）や地域包括支援センター等の関係機関に対し、事業の周知を図っていきます。今後は、参画法人以外の会員法人の皆様にもレスキュー事業への参画を呼びかけ、全会員法人による取組体制を整えていきます。

<資源リスト一例>

食品

白米、トト（ご飯、おかゆ、カレー、雑炊）、
イスタト（麺、うどん、味噌汁等）、缶詰、
栄養補助食品、飲料水（水、お茶）、粉_ミ
粉、非常食（アルファ米、乾パン等）

生活用品

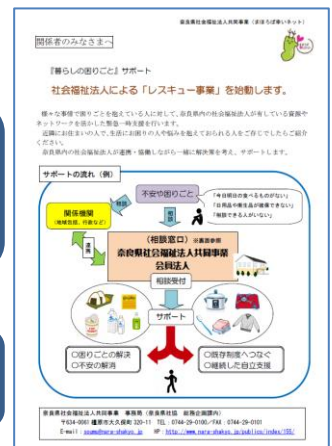
炊飯器、カセットIH、ポット、鍋、ホットプレート、
簡易ベッド、卓上ライト、寝具（布団、
毛布、寝袋）、衣類（寝間着、下着）等

衛生品

タオル、歯ブラシ、歯磨き粉、トイレットペーパー、
ティッシュ、お風呂、石けん、シャワー等

その他

車椅子、発電機、ヘルメット、テント等



モニタリング支援事例の紹介

3月2日、奈良市内の地域包括支援センターから市社協へ、市内の病院に緊急入院となった男性のレスキュー支援について連絡が入る。当該男性は、着替えを持っていなかったにもかかわらず（経済的な事情で）病院のレンタル着を借りることを拒否されていたため、入院期間中の衣類提供について相談があった。市社協が仲介役となり、市内の参画法人へ支援を依頼。法人の担当職員が病院へ訪問し、地域連携室を介してご本人と面会し衣類を届けた。

【対象者：68歳男性（近親者の有無不明）】

◆「たかとりふれあい食堂」開催（地域食堂事業）

3/20（火）のふれあい食堂では、ちらし寿司とお吸い物、そして少し遅いですが、ひな祭りにちなんで甘酒が提供されました。食後は、町民の方によるハーモニカ演奏、詩吟が披露され、参加者からは「心が落ち着くわあ」と、



ゆったりとした優雅な時間を過ごしておられました。恒例となった棒体操のあとは、甘酒を飲みながら、法人スタッフと参加者の皆さんとで雑談に花を咲かせました。市尾大字の行事について話していると、参加者から「行事があっても参加する人はある程度きまっている、いつも同じメンバーになりがち」と

のお話がありました。主催者側では、このような話を踏まえ、来年度のふれあい食堂の開催方法等について企画・検討を進める予定です。次回は、4/17（火）、メニューは炊き込みごはん豚汁です。

(平成30年度の取り組み)

2月に開催した地域貢献活動推進フォーラムでは、まほろば幸いネットのこれまでの取組を振り返り、その実践の共有、成果・課題の総括を行いました。平成30年度は、社会福祉法人の協働・連携による取組の拡充を目指し、実践事例やノウハウの共有、活動の支援体制の強化、そして会費制度の導入検討など、地域貢献活動の定着・促進に向けた取組を会員の皆様と共に進めてまいりたいと存じますので、引き続きご協力いただきますようお願いいたします。

(まほろば幸いネット会員加入状況【H30.3月30日現在】)

認証法人：90法人（施設法人69、社協21）

発行：奈良県社会福祉法人共同事業 事務局（奈良県社協 総務企画課内）
〒634-0061 橿原市大久保町320-11 TEL：0744-29-0100/FAX：0744-29-0101

E-mail：soumu@nara-shakyo.jp HP：<http://www.nara-shakyo.jp/publics/index/155/>